

平成30年度 実践研究発表会
ご案内（第二次案内）

子ども達の願いへとつなぐ 「桃陽の学び」の創造

～一人ひとりの自己実現をめざした授業と
移行に向けた連携方法の研究～

文部科学省委託「入院児童生徒等への教育保障体制整備事業」協力校

平成30年11月30日（金）9:30～16:50（受付9:00～）

会場 京都市立桃陽総合支援学校

（京都市伏見区深草大亀谷岩山町48-1）

京都市立桃陽総合支援学校

入院治療のため、学校に通えなくなる子どもたちに教育が十分に保障されるよう、文部科学省より「入院児童生徒等への教育保障体制整備事業」の委託を受けて3年目となりました。総務省の「フューチャースクール事業」文部科学省の「学びのイノベーション事業」への参画以来培ってきたICT活用の実践や、長年にわたって築いてきた医療と教育の密接な連携のもと、各病院の分教室や訪問教育における取組を充実させてまいりました。

また、桃陽総合支援学校本校におきましては、近年、心身症の児童生徒が増加傾向にあり、その中には発達の違いによる学習上また人間関係の形成の困難さを抱えるケースが多くあります。原籍校に戻った時に、より適切な支援が受けられるよう、障害の特性に応じた支援や、原籍校との連携のあり方についても研究を進めております。

今年度、研究報告会は、午前に「入院児童生徒等への教育保障体制整備事業」について3年目の実践報告を行います。授業公開においては、各部の研究テーマにそった授業を行います。子どもたちの学ぶ意欲を育む授業、またICTを活用し、本校・分教室・ベッドサイドがつながった授業を配信にてご覧いただけます。また、研究報告会では、本校・分教室・訪問教育での取組を報告し、「ICT体験コーナー」を設け、色々な機器に触れていただき、今後の教育を共に考えていけたらと思っております。ぜひご参加いただき、忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。

【時程】

9:30～9:40 開会挨拶・学校紹介

9:40～11:10 文部科学省委託

「入院児童生徒等への教育保障体制整備事業」の概要及び報告

11:15～12:05 授業公開

13:20～14:10 桃陽総合支援学校 研究報告会

14:20～14:50 ICT体験コーナー

15:00～16:40 シンポジウム

「特別支援学校と病院、原籍校等との連携による病弱教育のあり方について」

パネリスト 国立特別支援教育総合研究所 上席総括研究員 新平鎮博 氏
関西学院大学 教授 丹羽 登 氏

16:40～16:50 閉会の挨拶

授業公開 4校時 【小学部】11:20～12:05 【中学部】11:15～12:05

【本校小学部】

教科	グループ	授業者	授業内容
自立活動	「スター☆スマイル ～なりたい自分になるために～」		
	1	中久保和志	「目標を達成しよう！ コミュニケーションの達人をめざして」
	2	綱島明日香	「気持ち・理解・伝えよう」
	3	橋口理紗	「守ろう！ルール！！」

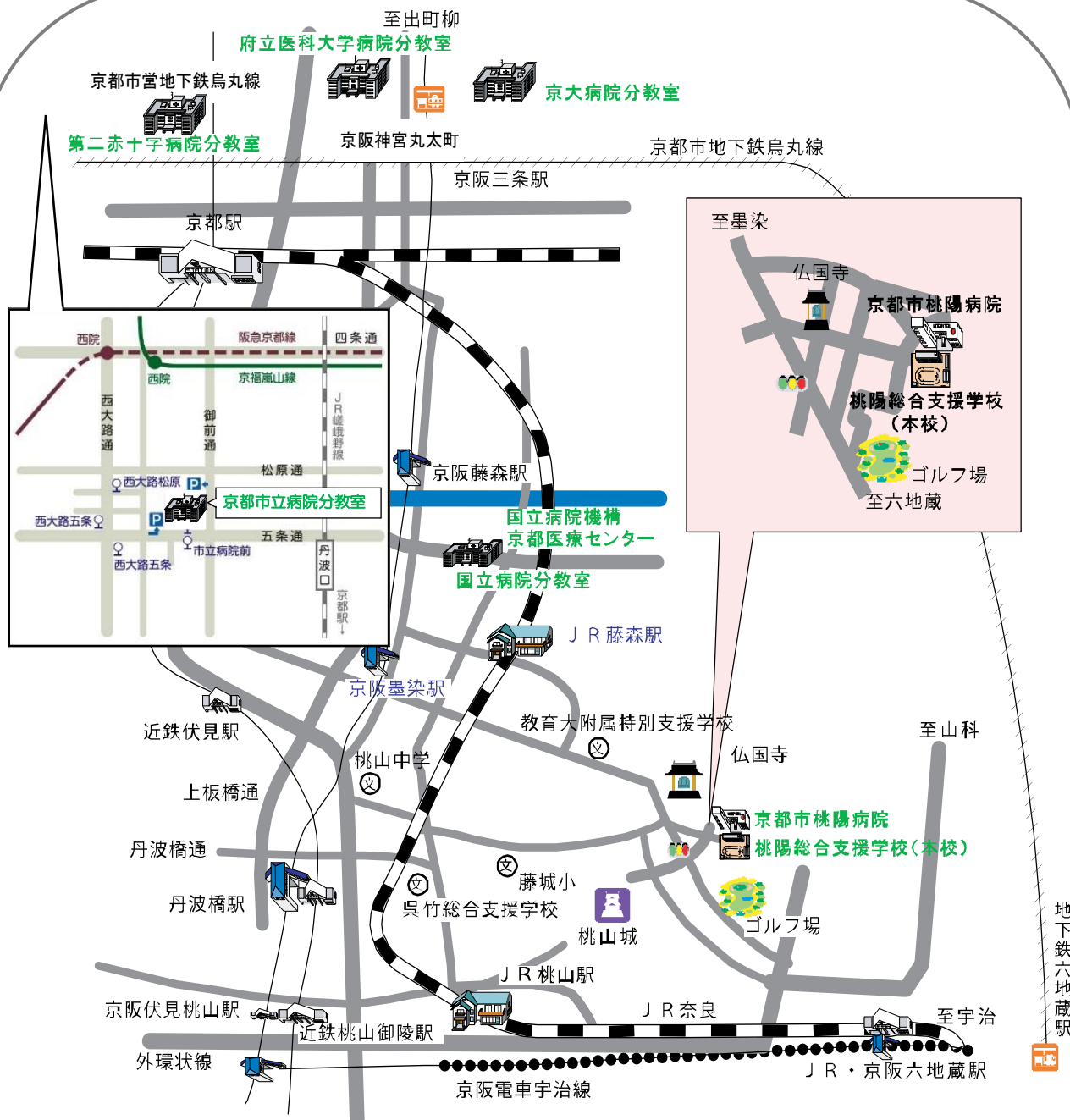
【本校中学部】

教科	学年	授業者	授業内容
保健体育	1年	菊地 憧	欲求やストレスへの対処と心の健康 「8 欲求と欲求不満」
英語	2年	高森な奈	Unit6 「Rakugo in English」
理科	3年	橋本果穂	4章 太陽系と銀河系 「2. 太陽系のすがた」

【分教室】 分教室の授業は本校で配信にて視聴いただけます。

教科	学年	授業者	授業内容
生活 総合	小学部	木村京子	「きせつのおくりもの ～たべたいな！冬の野菜をおいしく～」
総合	中学部	小西茂夫	「広告ちらしをつくろう！」

京都市立桃陽総合支援学校周辺図



○JR 京都駅から JR 奈良線「JR 藤森」駅まで各駅停車で約 10 分、駅より徒歩 20 分
 ○京阪電車「墨染」駅より徒歩 30 分